

東京大学大学院医学系研究科・医学部  
男女共同参画委員会主催  
第9回医学系キャリア支援のための交流会  
開催報告および参加者アンケート集計結果

## I. 企画の概要

1. 目的： 大学院医学系研究科・医学部、および、医学を志す教養学部生・高校生などにおいて、  
①医師・研究者・学生のキャリア形成に対する意識を高める。  
②様々なライフイベントを経験しながら前向きにキャリアを切り開く生き方への理解を深める。
2. 日時：2021年6月25日（金） 16:50～18:30 （第二部（オプション）：18:30～19:25）
3. 開催形式：オンライン（Zoom）
4. 対象： ・医学部（附属病院を含む）の学生・教職員  
・大学院医学系研究科の大学院生・教職員  
・医学に関心のある教養学部学生・高校生など（いずれも男女不問）  
※ 他機関からの参加可。事前申込必要。先着300名登録可。

### 5. 内容：

司会・進行：細谷紀子、本田郁子

- 16:50 開会挨拶  
(岡部繁男 医学系研究科長・医学部長、瀬戸泰之 医学部附属病院長)
- 16:55 講演  
松本有 先生  
(東京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科 講師)  
「耳鼻科医かつ研究者かつパパ」
- 17:25 亀山祐美 先生  
(東京大学医学部附属病院 老年病科 特任講師)  
「Life を Work に活かして -家事・育児・介護経験から生まれた  
研究テーマと夫婦で『AI による認知症研究』-」
- 亀山征史 先生  
(東京都健康長寿医療センター 放射線診断科 医長)  
「病を乗り越えて -退職から算数の力でアカデミア復帰へ-」
- 17:55 質疑応答・全体討論
- 18:25 閉会挨拶 (吉川雅英 男女共同参画委員会委員長)

### 6. 企画・運営：

東京大学大学院医学系研究科・医学部男女共同参画委員会  
第9回医学系キャリア支援のための交流会 実行委員会  
(幹事) 細谷紀子・本田郁子  
(委員) 飯塚陽子・庄田宏文・菅谷佑樹・田村純人・野村幸世・春名めぐみ・宮寄美幾  
M4：今村洋介・笠原千晶・鴻野芽依・吉富祐太郎  
M3：小田原光一・鐘ヶ江真理子・和田都花  
M2：鈴木暢英・中桐悠一郎・三武さわ  
M1：伊藤遙・鎌田康生・渡壁健太  
C2：桜田晃太郎・南佳里

## II. 開催報告

### 1. 参加申込者数と属性

締切日(6/14)時点での参加申込者数(人)と内訳

学内)教員	37
学内)ポストク・病院診療医	2
学内)大学院生	13
学内)研修医	1
学内)学生	48
学内)その他(事務など)	6
学外)高校生	110
学外)その他	23
合計	240

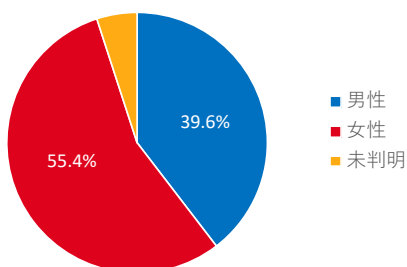
#### 【高校生からの申込の内訳】

日比谷(東京都)	38
戸山(東京都)	30
筑波大附属(東京都)	9
豊島岡女子(東京都)	4
渋谷教育学園渋谷(東京都)	4
江戸川取手(茨城県)	4
東京学芸大附属(東京都)	3
白百合学園(東京都)	2
広尾学園(東京都)	2
成城学園(東京都)	2
東海(愛知県)	2
渋谷教育学園幕張(千葉県)	1
東葛飾(千葉県)	1
豊多摩(東京都)	1
暁星(東京都)	1
晃華学園(東京都)	1
洗足学園(神奈川県)	1
滝(愛知県)	1
帯広大谷(北海道)	1
東京韓国学校(東京都)	1
UWC Dilijan(アルメニア)	1
計	110(人)

#### 【学外(高校生以外)からの申込の内訳】

東京医科大学	4
昭和大学医学部	2
杏林大学医学部	1
日本医科大学	1
国立がん研究センター中央病院	1
日本赤十字社医療センター	1
東京新宿メディカルセンター	1
東京都健康長寿医療センター	1
東京都医師会	1
公立昭和病院	1
東京医科歯科大学	1
東京慈恵医科大学	1
山梨大学医学部	1
ハーバード大学	1
東京学芸大附属高校	1
白梅学園高校	1
一般(保護者)	3
計	23(人)

#### 【性別の内訳(参考)】



## 2. 会の概要

「医学系キャリア支援のための交流会」は、2012年以降、毎年6月の男女共同参画週間に開催されてきた。第9回目を迎える今回は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて1年遅れの開催となり、初めてオンライン（Zoom）で開催した。当日は、学内外から約200名の参加があり、その半数近くを高校生が占めた。講師として、東京大学医学部附属病院耳鼻咽喉科講師の松本有先生、東京大学医学部附属病院老年病科特任講師の亀山祐美先生、東京都健康長寿医療センター放射線診断科医長の亀山征史先生の3名をお招きし、若手の医師・研究者・学生・高校生のキャリア形成に対する意識を高めるとともに、様々なライフイベントを経験しながら前向きにキャリアを切り開く生き方への理解を深めることを目指した。

開会にあたり、岡部繁男医学系研究科長・医学部長と瀬戸泰之医学部附属病院長より挨拶をいただいた。岡部研究科長・学部長は、第9回目となる本交流会が、新型コロナウイルス感染症流行の影響で1年遅れになったが今回オンラインで開催される運びとなったこと、そして、今回、過去最多の240名の参加登録があり、高校生からも100名以上の参加申込があったことへの喜びを述べられた。また、現在、藤井輝夫新総長のもとで検討中の東京大学の新しい指針“UTokyo Compass”の中に、「ダイバーシティ（多様性）」と「インクルージョン（包摂性）」が含まれており、大学をあげてこれらに取り組む旨を紹介された。最後に、本交流会が、年齢や職業の違いなどの多様性を尊重しながらお互いの意見を聞き、共感できる考え方や生き方を発見できる場であってほしいと述べられた。瀬戸病院長は、本交流会の参加登録者数が過去最多で、過半数が学外からの参加で、高校生も多く、北海道や愛知県や海外からも参加申込があったことから、本交流会が幅広く関心を持たれていることを実感している旨を述べられた。そして、東大病院ではこれまでも男女共同参画やキャリア支援に努めてきたが、近年その重要性がなお一層増していることを指摘され、本交流会が、今後病院でどのような支援が必要かを改めて考える貴重な場となることを期待している旨を述べられた。

続いて、3人の講師の先生方の講演に移った。まず、松本有先生より「耳鼻科医かつ研究者かつパパ」というタイトルで講演が行われた。松本先生は、家族年表を呈示しながら、ご自身そして産婦人科医の妻のキャリアパスとライフイベントについて、順を追って話された。松本先生は、学生の頃は試験が苦手で、1年浪人して東京大学に入学し、医師国家試験の合格も1年遅れになったが、そのおかげで、現在の妻と大学で同級生となって結婚ができ、また、夫婦の大学院在学期間がずれたために子育てにも支障を来さずに済んだと振り返られた。東大医学部を卒業し、国家試験に合格後、東大の耳鼻咽喉科に入局してすぐに関連病院に出向し、素晴らしい部長の先生方のご指導のもと、手術三昧の楽しい時代を過ごされた。一足早く大学院に進学した妻は、大学院在学中に2児を出産した。第1子が生まれてすぐの時期は、松本先生ご自身はまだ関連病院におられたため、「週末婚」の状態であったという。妻より2年遅れで大学院に入学してからは、より育児に参加できるようになり、両親も巻き込んで大学の近くにマンションを購入して職住接近を実現させた。大学院ではナノテクノロジーの研究に挑戦された。高分子ナノミセルのがんへの輸送や血管からの噴出をマウス in vivo イメージングで捉えた研究が超一流の学術雑誌に掲載され、とても嬉しかったという。博士号を取得後、再び関連病院勤務を経て、大学病院に戻り、助教、特任講師を経て、現在は講師を務めている。大学病院では、臨床では内視鏡下耳科外科手術を導入し、後輩の指導もしており、研究も続けている。講演の随所で、お勧めの育児グッズ（ベンチコート、鼻水吸引器、バギーボードなど）を紹介された。

続いて、亀山祐美先生より「LifeをWorkに活かして一家事・育児・介護経験から生まれた研究テーマと夫婦で『AIによる認知症研究』」というタイトルで、また亀山征史先生より「病を乗り越えてー退職から算数の力でアカデミア復帰へー」というタイトルで講演が行われた。祐美先生は、女子校教師の祖母や、小学校時代の女性校長など、多くの働く女性のロールモデルに囲まれて育った。入学した東京女子医科大学には女性医師のロールモデルを受け継ぐ伝統があり、大学創始者の歴史や先輩医師の話聞きながら、たとえブランクがあったとしても仕事を長く続けてゆく決意をされた。また、高校生時代にボランティアで高齢者施設へ訪問して以来、高齢者医療に興味を持った。大学卒業後、東大老年病科に入局し、初期研修を終え大学院に進学し、共同研究で出会った夫と職場結婚をされた。第1子を抱えながら認知症の祖父母の介護をしていたとき、祖母が調理の焦げた臭いに気づかないと訴えたことをきっかけに、嗅覚と認知症の関係の研究を着想し、成果を上げた。第2子誕生のころには、東大に院内保育園や女性休養室などが完備されており、快適な職場環境に復帰できたという。最近祐美先生は、見た目年齢と認知症の研究の成果を発表された。撮りためた認知症患者の顔写

真を、夫の征史先生が構築した AI（人工知能）に学習させた結果、9 割の確率で顔写真から認知症患者を判別できるようになった。この夫婦共同の研究成果は新聞にも掲載され、大変話題となったという。最後に祐美先生は、「人生プラスもマイナスも、自分の中で活かしていけば成長につながる」とメッセージを送られた。

続いて夫の亀山征史先生よりご講演いただいた。男女共同参画で大事なことは、ダイバーシティ推進とキャリア支援であると述べられ、算数が好きな医学生というマイノリティーのために、算数を医学に活かした実践例をお話くださった。征史先生は高校生の頃「大学への数学」の宿題（当時の出題者は岡田康志先生（H5 年卒））を提出することが好きだったそうである。医学部を卒業後すぐに基礎系大学院に進学したが、病気を発症され、転専攻を経て核医学の道に進まれた。学位取得後再び病状が悪化したため東大病院を退職し、8 年の非常勤職の生活を過ごされた。その間、脳血流トレーサーのデータ補正の改良法を見出し、初めての論文を単著で発表した。その成果が評価され、国立国際医療研究センターへの就職につながった。また、新しい脳血流定量法や平均血球年齢の推定法の研究についてもお話された。征史先生は、高校生の頃は正確性を求めた数学が好きで近似を好まなかったが、20 年弱医学に触れ、医学の役に立つ大胆な近似ができるようになったそうである。また、研究を通じて世界の研究者との交流が持てたことは、他に代えがたい喜びであったという。最後に征史先生は、一度研究から離れても戻ることができる、算数を医学に活かす道はきっとある、新しい医療を作り出すためには様々な人材が必要であると述べられ、算数好きの医学部生や高校生にエールを送られた。

質疑応答の時間には、高校生からは、海外キャリアを歩んだ医師の事例があるかどうか、大学受験におけるモチベーションの保ち方と親に自分の希望する進路を理解してもらう方法について、数学や AI の勉強の仕方、今後の女性医師に求められること、家庭と仕事の両立のコツについて、大学生や大学院生からは、臨床と研究のバランスのとり方、キャリアとライフイベントのタイミングについてなど、様々な質問が寄せられ、松本先生、亀山先生夫妻から細やかなアドバイスやご意見をいただいた。

閉会挨拶として、吉川雅英男女共同参画委員会委員長より、ご講演いただいた松本先生、亀山先生夫妻への謝辞が述べられた。その後、18 時 30 分に一旦会を閉めた後、第 2 部（オプション）として追加の質疑やコメントを受け付ける時間が設けられ、高校生や医学部学生を中心に約 60 名が残って引き続き参加した。質問は途切れることなく続き、当初の終了予定時刻を大きく超過して 19 時 30 分近くまで会は続いた。オンラインという形式ではあったが、高校生や大学生が講師陣と生き生きと対話をし、とても充実した「交流」の時間を持つことができた。

### III. 参加者アンケートの集計結果

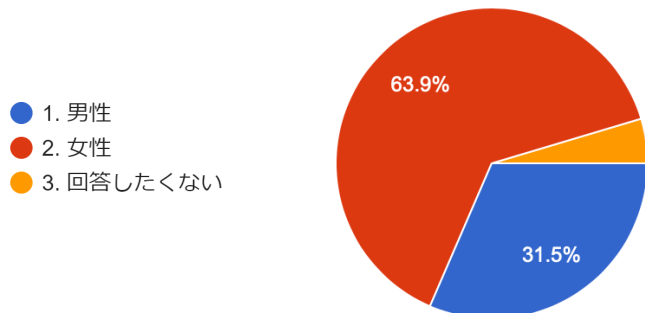
当日参加者数：191人（接続記録より）

アンケート回答者数：108件（回収率 56.5%）

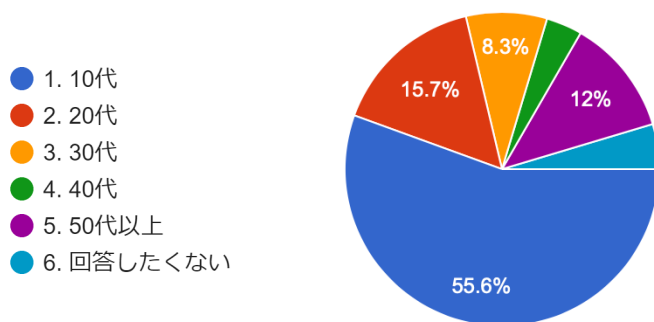
アンケート実施方法：Google フォームを利用

#### <基本情報>

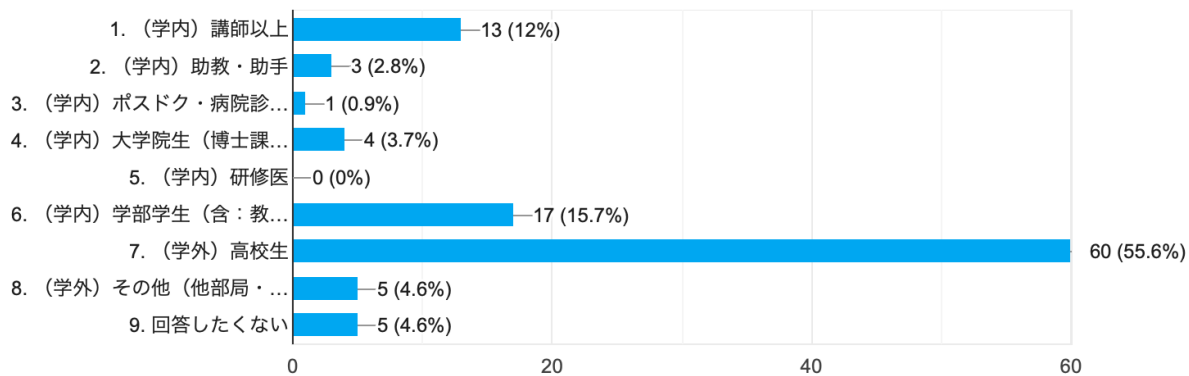
##### A1) 性別



##### A2) 年齢

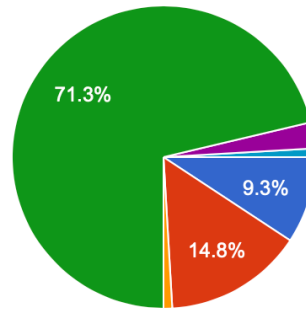


##### A3) 職種・職位（特任・客員を含む）

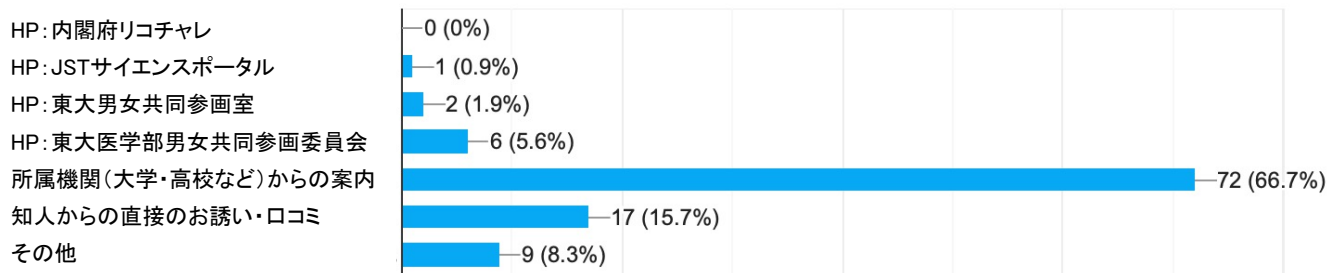


A 4) 所属

- 1. 基礎医学系
- 2. 臨床医学系（病院を含む）
- 3. 社会医学・看護学系・健康総合科学
- 4. その他（学部学生、教養学部学生、高校生、他部局・他機関など）
- 5. 回答したくない



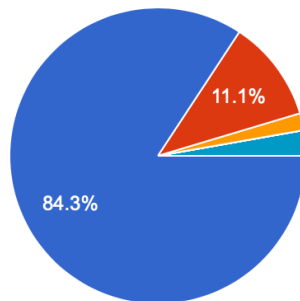
A 5) この会を何でお知りになりましたか（複数回答可）



<今回の企画の感想について>

B 1) 講演 松本有先生 「耳鼻科医かつ研究者かつパパ」について

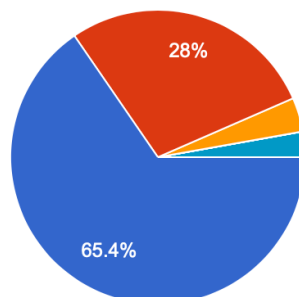
- 1. 大変良かった
- 2. よかった
- 3. 普通
- 4. やや不満
- 5. 不満
- 6. 無回答



B 2) 講演 亀山祐美先生

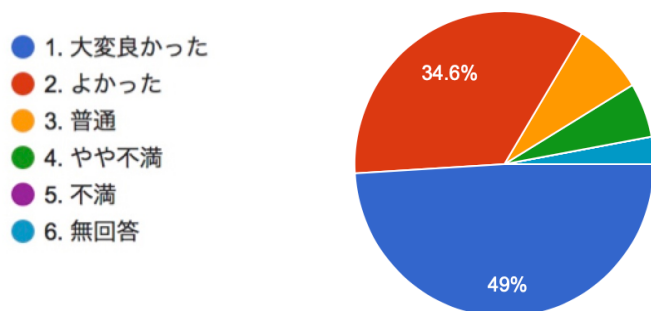
「Life を Work に活かして ～家事・育児・介護経験から生まれた研究テーマと夫婦で『AI による認知症研究』～」について

- 1. 大変良かった
- 2. よかった
- 3. 普通
- 4. やや不満
- 5. 不満
- 6. 無回答



### B3) 講演 亀山 征史 先生

「病を乗り越えて ～退職から算数の力でアカデミア復帰へ～」について



### B4) 本企画について、あるいは、講演についての感想（自由回答）

#### 本企画について：

- ・高校1年ということもあり進路に迷っている中、このような実際に医療の最前線で働かれている方々のお話を聞けたことは貴重なことであり、私にとって忘れられない時間となりました。初めての参加でしたが多くの学びがありました。厳しいご時世のなかオンラインという形で開催していただきありがとうございます。
- ・お忙しい中このような会を開いていただきありがとうございました。医師になるために医学部に入るというそこまでの道は決まってもそこから先、どのような道を辿れば良いのか分からずいたので、今日具体的に知れたことにとっても嬉しく思います。今後ともこのような甲斐がありましたら積極的に参加させて頂きたいと思います。
- ・多方面にわたり身近な所から深く専門的な部分まで紹介・説明をしていただき大変貴重な体験を下さり有り難く思います。個人的には松本先生の経歴や実経験を混ぜたお話が興味深く印象に残りました。今年はオンライン開催という形ではありましたが先生方の円滑な進行やとても為になるお話で充実していてあっという間に時間が過ぎてしまいました。僕はまだ高校1年生ではありますが医学を目指したい気持ちがより一層固まったように思います。今後もこういった機会がありましたら参加したい所存でございます。本日はご多忙の中大変貴重なお話をありがとうございました。僕が医学に進み、またお会い出来ることを願っております。本当にありがとうございました。
- ・会の進行がとてもスムーズで、参加者への暖かいお心遣いや工夫が随所に感じられ、素晴らしかったです。それぞれの先生方の個性が溢れていた講演も面白かったです。
- ・第1部、よかったです。そして、「第2部」が感動しました。よくわかりました。有難かったです。
- ・第一部だけでなく、第二部でも先生方のお話が聴けて、嬉しかったです。司会の先生にはいつも気軽に質問ができるようにお気遣いをいただき、先生方の暖かいお人柄を身近に感じることができ、感動しました。素晴らしい時間をありがとうございました。
- ・2年前に東大のオープンキャンパスに参加し、本日司会をされていた細谷紀子先生の学部説明会での講演を安田講堂で聞いた者です。会が始まった時、その時の感動を思い出しました。本日は講演で3人の医師の先生の人生の具体例をお聴きできただけでなく、第二部では、松本先生、亀山先生ご夫妻、細谷先生などが、参加者からの追加質問をほぼ全て受け付けて優しく丁寧に回答くださり、本当に感動しました。受験勉強が間に合うか不安はありますが、夢に向かってこれから一杯頑張っていこうと思いました。貴重な機会を設けていただき、本当にありがとうございました。

- ・今回は大変貴重なお話をありがとうございました。私は小学生の頃から、医学の分野に興味がありましたが、漠然としたものであったため、高校生になって将来がぐっと近づいてきたことで、医学の道にすすむとどのような道があるのかを知りたいと思い、今回の交流会に申し込ませていただきました。松本先生や、亀山先生ご夫妻のお話を伺って、再度、医学の研究や臨床の現場に立ちたいと感じ、より明確に将来を見据えることができました。医学の道に進むことは容易ではないと思いますが、諦めずに努力していきたいと思います。また、このような機会があれば、是非参加したいと考えています。本当にありがとうございました！！
- ・本日は、このような素晴らしい会を開催していただきありがとうございました。お話を聞くまでは、医者の仕事は融通が利かない部分が多く、ワークライフバランスを取ることが難しい仕事であるというイメージがありました。しかし本日のお話を聞いて、結婚や出産、子育てなども十分に出来る環境が整っているということがわかりました。臨床や研究で活躍されてる方のお話を実際に聞ける機会はなかなか無いので、本当に貴重な経験ができました。
- ・いろいろな観点から興味深いお話を頂きありがとうございました。家庭と仕事の両立ということはもちろん、研究について精力的に取り組まれている先生方の姿に、自分もできるだけ頑張ってみようと思える思いでした。学生時代、実行委員をさせて頂いたとき（ちょうど松本先生の奥様のお話もございました）には、家庭と仕事の両立ということが漠然とした問題であったのですが、結婚を経て、いつ出産をするか、研究を続けることはできるか、臨床にどの程度重きを置くことになるのだろうか？家族の介護にどこまで関わられるだろうか？、と差し迫った問題として関心があり、facebook で大学アカウントからのお知らせをみたこともあり、今回久しぶりに参加をさせて頂きました。参加させていただき非常に有意義でした。
- ・大変興味深く参加させていただきました。若い年齢層の参加者が多く、司会者の声かけも適切で、高校生や大学生が次々に手を挙げて生き生きと質問をしていたのが大変印象的でした。講演では、とくに松本有先生のお話が楽しく、分かりやすかったです。
- ・高校生の方の参加が多く驚きました。大学進学先として医学部を、選ぶというより、職業を選ぶという意識なのかもしれません。
- ・高校生が多くて良かった。
- ・とても興味深い内容で大変勉強になりました。このような貴重な機会をいただきまして、ありがとうございました。
- ・大変有意義な内容でした。ありがとうございました。
- ・とてもよかったです。
- ・ためになりました。
- ・ありがとうございました。時間の都合からご質問できませんでしたがとても面白い交流会でした。今後もぜひよろしく願いいたします。
- ・途中からの参加になってしまいましたが、参加して良かったです。来年も楽しみにしております。

#### **講演についての感想：**

- ・3名の先生のお話を伺え、大変貴重な経験になりました。
- ・今回は、男性から、ご夫婦からと盛りだくさんでとても楽しめました。
- ・三者三様で、響く相手が違ったのは良かったと思います。
- ・久々に男性講師が2名も講演されて、とても新鮮でした。
- ・以前から男性視点での男女共同参画についてお聞きしたいと強く思っていたので、今回は非常に



良い機会となりました。ありがとうございました。

- ・共働きで頑張ってきた男性講師の言葉には説得力がありました。
- ・講演していただいた方それぞれが医師であるが同時に研究もしている方々だったので、自分の医師へのイメージがまた広がった。貴重な話が聞けて良かった。
- ・様々なジャンルの医師の方々のお話を伺うことで、医師としての仕事の多様性や、将来のプランが見えた気がしました！ありがとうございました。
- ・医療系キャリアの方々のお話を聞いて今までわからなかった具体的な仕事を理解することが出来ました。自分が考えていたよりも多様な選択肢があるということがわかりました。ありがとうございました。
- ・一言に医師と言っても、さまざまなキャリアがあり、自分の将来の方向性を考えるきっかけとなった。
- ・キャリアについて詳しく考えたことがなかったが、実際に医師の方の経験を聞き、視野が広がった。将来を考える上で、とても貴重なお話を聞けて良かった。
- ・なかなかキャリアの話聞く機会がなかったので大変ありがたかったです。興味深いお話をありがとうございました。
- ・医学系に進んだ後の具体的な話を聞けて大変有意義でした。私の両祖母も母も専業主婦なので、自分のキャリアに対する考えを深めるよい機会になりました。
- ・キャリア形成について詳しく聞くことができとても興味深かった。
- ・今後のキャリア形成を考えていく上で、非常に参考になった。
- ・大変貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。今までは医師という職業だけについて考えていましたが、生活とどのように両立すべきか考えるきっかけになり、良かったと思います。また医療においても男女平等が大切だと感じました。ありがとうございました。
- ・講演の先生方の人生経験など、従来の講演では拝聴できなかった内容を聴くことができ、大変参考になりました。
- ・具体的な体験をもとにわかりやすくお話しいただき、生き方や考え方なども含めて、大変興味深い内容でした。
- ・医師の方々の日常的な部分まで教えていただき参考になりました。
- ・夫婦ともに医師の立場での情報は有益であった。
- ・リアルな家庭との両立の話が聞けてとても面白かった。
- ・医師、研究者、家庭人という鼎立を実現しているのがすごい。
- ・多様なキャリアをお持ちの先生方のご講演をいただき、将来進む分野や仕事と家庭をどのように両立するかについて考えるきっかけになりました。本日は、本当にありがとうございました。
- ・小さい頃から医者である祖父に憧れていたのですが、高校生になって進路選択が近づくにつれ、自分の学力でいけるのかどうか、や本当に今もなりたいのか、など悩んでいました。そんな中でこの講演について学校から紹介され、祖父が勤めている病院の先生がいらっしやっただけでもあり、参加することにしました。様々な経験をしていらっしやる3人の先生方のお話はとても興味深く、楽しく聞かせて頂きました。やっぱり私は医学に興味があるのだと再認識することもできたので、後悔のないように日々の生活を送っていきたいと思いました。
- ・非常に関心が持てる点があった。
- ・大変参考になりました。貴重なお話をありがとうございました。
- ・興味深いお話が聞けてよかったです。

- ・以前は主に女性医師に向けた、どうやったら家庭と両立してキャリア形成をするか、といった内容が多かったですが、今回は高校生に向けた、キャリア紹介のような側面が強くなったと感じました。対象に性別を意識しないことこそが真の男女共同に近づいているのかもしれないと思いました。
- ・自分の高校時代に、こうした話を聴く機会があったらすごく良かったと思います。
- ・今まで、医学についてのお話をお伺いすることは何度かありましたが、そこに至るまでの過程「キャリア」についてのお話をお聞きしたのは初めてでした。今回、実際に私が将来やりたいことと同じようなことをする人、した人はあまりいないということを知りました。ですが、医学、医療と関わりを持ち、多くの人と関わっていくということには、どの進路を選択しても大きな違いはないと思っているので、今回のお話をもとに、自分の将来像を、より具体的なものにしていく楽しみを感じながら、まずは第一志望の大学合格を目指して頑張りたいと、心から感じました。
- ・私は医師を志しており、国立大学の医学部を目指しているため、実際に医師として活躍されている方々のお話をオンラインではありますが実際に聞くことができ大変嬉しかったです。結婚・子育てと医師との両立について興味があったため、特に松本先生のお話がためになりました。実際に子育てで役立ったグッズなど、少し脱線も挟みながら楽しいお話でした。ご自分と同様に奥様の進路についても言及されていて、お互いが医者であった場合噛み合わせが大変なのだなと感じました。亀山祐美先生のお話も、結婚・子育てとの両立についてであり、「外来に入ることで当直を免除してもらった」「大学側が事務補佐の方への給料を負担してくれる」など両立するための Tips のようなものも学ぶことができました。私は AI などに詳しくありませんが、AI で判定するという技術をこれまででいくつか学んでいて、最新技術をうまく活用されている姿に感銘を受けました。大変なことを大変と捉えない、「女性だから」と思わない、強い姿勢を見習おうと思いました。
- ・松本先生の話聞き具体的な生活を垣間見ることができました。そのあとに女性医師や、数学と関連した専門的な話を聞くことができ様々な観点から医師というものが自分にとって近くなった気がした。
- ・どの先生方も大変密な人生を歩んできて、功績も残されたということがわかりました。以前学校の企画で「大学に入ってから何ができるか」ということについて、先輩方からお話を聞く機会があったのですが、その回が終わった後に「医師になってからの道はどのようなものなのか」ということが大変気になりました。そんな中での本講演会、松本先生も、亀山ご夫妻も一口に医師といっても、研究に携わったのか、臨床として現場に出たのか、あるいは結婚などの家庭はどうなのか、などの医師としての詳しい過程を知ることができ、大変学びとなりました。本講演会の主催をしてくださった方々、そして貴重なお話をしてくださった松本先生、亀山祐美先生、亀山征史先生、本当にありがとうございました。次回もまた参加しようと思います。
- ・とても貴重なお話をしてくださりありがとうございました。松本先生のご講演は、動画だったので声が聞きとりやすかったです。医師になってからの進路を知ることができて、医師としての人生のイメージがしやすくなりました。亀山先生ご夫妻は、リアルタイムでお話ししてくださり、実際に対面で聞いているようで楽しかったです。亀山征史先生はとても詳しく数式を説明してくださったのですが、私には難しく、内容が掴めなかったため、もう少し簡単な言葉でお話ししていただけたらいいなと思いました。先生のように楽しそうに数学を使えるように、頑張りたいです。
- ・どの先生のご講演もとても参考になりました。松本先生のような年表形式での自身の経歴の紹介はわかりやすくイメージしやすかったです。亀山征史先生のご講演はスピードが少し速く、また内容もかなり難しめだったので聞くのが大変でした。算数への愛はとてもよく伝わってきましたが、高校生が多く参加する会だと考えるともう少し内容を簡単にしたり話すスピードを落としたりす

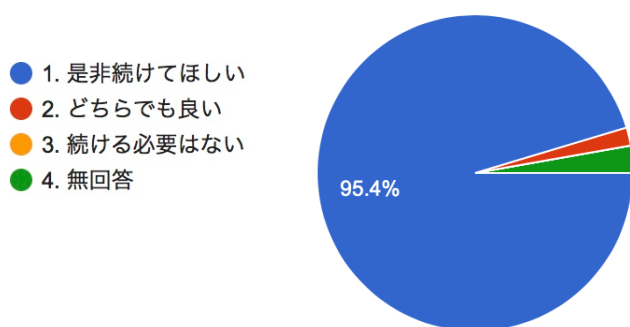
ると、より聞きやすい講演となったのではないかと思います。

- ・非常に興味深いお話をありがとうございました。楽しく拝聴いたしました。特に松本先生のお話が、自分の卒業後のキャリアを考える上で参考になりました。「ここまでは一本道」など、ご自身のキャリアだけでなく、一般的な研修医全体の視点でもお話になっていて、非常に参考になりました。
- ・松本先生が夫婦のキャリアおよびライフイベントを年表のようにまとめていたのがわかりやすかったです。また、住居や職場や両親からのサポートについて赤裸々に話していただき、大変参考になりました。
- ・必ず理科三類に合格して(現役で)松本有先生のような父親になりたくなった (学生像は別です)。又、耳鼻咽喉科にも少しばかり興味を持った。
- ・具体的なキャリアの例やお金についても聞くことができ、直接質問させていただくこともできたので良かったです。
- ・医師と聞くと、何だか医師になるまでの道のりでものすごく大きな決断をしたり、他の人には真似出来ないような選択をしてきた人々、というイメージがあり自分が目指すことにも緊張していたが、先生方のお話をお聞きして、人それぞれ進んできた道は全く違い、たくさんの曲がり角や失敗を経験してきたんだとわかり近い存在に感じられて嬉しかった。先生方のおすすめのサイトなどを載せてくださったので、この講演後でも自分で興味が沸いたことについて調べやすかった。1番想像がつかなかった育児と仕事の両立の面について、女性医師の先生からのお話も聞くことができとても参考になった。今までぼんやりとした道だったのが、少しずつはっきりとこれから自分が歩むことになる可能性がある道を導き出せた気がする。
- ・2人目の女性の先生の講演は、高校生にもわかりやすい内容で、自分自身の経験を職業に活かしている様子がよく伝わって興味深かったです。
- ・医療系に進んだ方が具体的にどのような人生を歩んだのかわかって自分の今後のめやすとして行きたいなと思いました。亀山祐美先生の女医についてのお話はとても興味深かったです。
- ・貴重なお話を聞くことができ、とても良かったです。女性がこのように活躍できることを知り、不安も薄まりました。より、この分野に興味が湧きました。
- ・私も女性であり、出産・結婚をしたいと考えているため他の方の質問を含めてとても参考になりました。
- ・東京大学の先生方の貴重なお話を伺うことができ、大変良い機会となりました。子育てや、ブランクが空いたあとに医療系のキャリアを進める方法などはとても参考になりました。また、私は数学が好きなので数学の医学分野での活用法はとても興味深いものでした。私はまだ高校1年生で公演で紹介していただいた式の内容を理解することはできませんでした。しかし、ほぼ高校範囲の知識で理解できると仰っていて、それらが理解できるようにより勉強に励んでいきたいと思いました。本当に貴重な経験となりました。ありがとうございました。
- ・専門的な研究のお話は理解できない部分も多かったのですが、これからの医師の在り方や研究のきっかけなどのお話はとても参考になりました。特に亀山先生の「未来の医師は、医療を作り出す人と患者に寄り添う人に分かれる」という言葉は、自分が医師として何をしたいのかを考える上でとても重要な言葉だと思いました。貴重なお話を聞く機会を下さり本当にありがとうございました。
- ・どの先生の講演も大変素晴らしかったと思います。亀山先生夫妻の講演は、研究者夫妻のロールモデルの提示になると思います。更に、亀山(夫)先生の講演には、研究者としての人生哲学を感じ、まさしくダイバーシティだと大変励まされました。

### 今後の改善案：

- ・興味深い内容でした。私の知識不足でもありますが、もう少し専門用語などの説明があるとより理解できたと思います。ありがとうございました。
- ・先生が研究されている内容を、もう少し具体的に話して頂きたかったです。
- ・男女参画が共通の命題かと思っておりましたが、そうでもないのでしょうか。枠組みがしっかり分かると、より聴講しやすいと思います。
- ・学校から帰宅する時間とかぶってしまっていたのでもう少し遅い時間にしていただけたら嬉しかったです。
- ・申し訳ございません。当日時間が合わず、参加できませんでした。

B5) 今後もこのような企画を続けて欲しいと思われますか。



B6) 交流会の内容や今後の男女共同参画委員会の活動へのご意見ご要望（自由回答）

### 交流会について：

- ・いつも興味深く参加させていただきます。私も頑張ろうと力をいただいています。誠にありがとうございます。
- ・素晴らしい機会を作ってください、本当にありがとうございます。また参加したいです。
- ・企画ありがとうございました。
- ・今回の様な企画は、大変有難いです。またお願い致します。
- ・今回の交流は医学という大きい括りだったため様々な方面から医学をより知る機会が設けられていてすごく勉強になりました。オンライン開催ということで Zoom を使った参加でしたが特に支障もなく問題も起こらず充実していたと思います。
- ・Zoom でこれだけの交流や対話の実現したことは素晴らしく、今後のイベントでも Zoom を利用できると良いかもしれません。
- ・今後も zoom のほうがいいかもしれませんね。
- ・会の円滑な進行と素晴らしい司会に感服いたしました。運営のノウハウを教えてくださいたい気持ちです。
- ・コロナ禍が収束し、直接の対話ができることを心待ちにしています。

- ・今回のお話の中で年に一回の開催だとお聞きしたのですが、よりたくさんのお話を聞きたいと思ったので年間に開催する回数を増やしていただきたいです。貴重なお話をありがとうございました。
- ・より長時間の交流会となってもよいので、より多くの立場の違う方々のお話を聞くことができると大変ありがたいです。
- ・とてもいい企画だったので続けてください。公衆衛生の方面的話も聞きたいです。
- ・今回もそうですが、恵まれた環境の人の話を多く取り上げている印象があります。夫が医師以外や親のサポートの無い女性医師の苦労話などもお願いします。
- ・現在、法医学に興味があるのですが、法医学者の方のキャリアをお聞きしたいです。
- ・東京大学出身の女性医師の方のお話をより深くお聞きしたかったです。(松本先生の奥様など) また、ご自身の研究のお話よりも、キャリアのターニングポイントにおいてどのようなことを考慮に入れて、どのような選択肢の中から、今の道をお選びになったのか、を詳しくお聞きしたかったです。次回の開催も心待ちにしております。ありがとうございました。
- ・NGOの国境なき医師団の方々など、世界で活躍する医師の皆さんとの交流をしたい。
- ・医学部に関連する他学部の講師の話も聞いてみたい。横との繋がりが気になる。東京女子医科大学だけでなく他の大学からも気になる。
- ・今回は研究者など臨床以外でも活躍されている方々のお話でしたが、特定の分野に偏ってしまうため、医師を目指す高校生としては、いわゆる「普通の医者」として活躍されている、いろいろな診療科の方々のお話も伺ってみたいです。
- ・PowerPointを使った、お医者さんのこれまでの人生についての講演だけでなく、例えばお医者さんの一日に密着するような、動画であったり、現在働いている様子を実際に見てみたいと思いました。コロナ禍ですがオンラインで今回のような講演会を行なって頂けるのは大変光栄です。是非今後も開催してください。
- ・次回も楽しみにしています。交流会のご案内をいただければ幸いです。

#### **男女共同参画委員会の活動について、他：**

- ・素晴らしい活動だと思うので、ぜひ今後も続けて頂きたいです。
- ・頑張ってください。
- ・いつか先生方に対面でお会いできることを夢見て、目標に向かって頑張っていきたいと思います。

貴重なご意見を多数いただき、大変有難うございました。

本アンケートの結果を、今後の行事の企画・運営、および、男女共同参画委員会の活動に活かしていきたいと思えます。

今後も、当委員会の活動にご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

東京大学大学院医学系研究科・医学部  
男女共同参画委員会